

すぎな愛育園 令和2年度

児童発達支援ガイドラインアンケート実施結果を公表します

すぎな愛育園では、より良いサービスを提供するために、「児童発達支援ガイドライン」をもとに、保護者様のご意見をアンケートで伺いました。
ニーズと課題を明確にしていくことで、今後のサービス提供内容の充実と、支援の質の向上を目指してまいります。

《 保護者様からのご意見 》

項目	いただいたご意見	ご意見をふまえた対応
環境・体制整備	園内も園庭も広く、きれいに保たれています。 担任以外もフォローに入っていて助かります。	建物が古いので、安全で清潔な環境を整えていきます。職員不足時は、他部署の職員もフォローに入るようにしています。
適切な支援の提供	定期的に面談があり、家庭での育児にも役立っています。 保護者のニーズはあまり聞かれたことがありません。 コロナで仕方ないが、保育園交流がなく残念です。	面談時などに保護者様の意向を丁寧に確認していきます。 コロナ終息後に交流を再開します。
保護者様への説明等	普段の様子や支援内容の説明が定期的にあります。 相談を親身に聞いてもらえ、回答ももらっています。 コロナで仕方ないが、保護者会活動がなく残念です。	保護者様と細やかに情報共有していきます。 感染対策を行いながら、懇談会などを開催していきます。
非常時の対応	定期的な訓練により、災害時の連絡の取り方をシュミレーションできています。	災害時を想定した訓練の充実を図ります。 感染症の拡大防止に努め、発生時の対応を策定しています。
満足度	子どもが毎日通園を楽しみにしています。 コロナ禍で多くの配慮や制限のある中、子どもが笑顔で通園できる状況に感謝します。	温かいお言葉を励みに、今後もお子さんや保護者様の安心と満足を目指し、支援の向上に努めてまいります。

《 当園自己評価 》

項目	改善策および取り組み状況
環境・体制整備	建物が老朽化しているため、丁寧な環境整備と修繕を適宜行ってまいります。 職員配置の安定と、支援スキルの向上を目指し、お子さんの安全を守ってまいります。
業務改善	各種アンケートや面談などでいただいた保護者様のご意見や、年度末に行う各職員の業務に対する反省・提案を基に、支援内容の改善を実施してまいります。 園内外の職員研修を引き続き充実させていきます。
適切な支援の提供	年度初めのアセスメント、3か月ごとのモニタリングを元に個別支援の充実を図っています。 担任だけでなく、全職員で全園児の支援を行うための情報共有を継続してまいります。
関係機関や保護者様との連携	お子さんへのよりよい関わりのために、必要に応じ他機関と情報共有を行っています。 保護者様とはおたより帳のほか電話や交換ノートを活用し、情報共有しています。
保護者様への説明責任等	年に4回の面談のほか、懇談会や保護者会定例会などで情報交換しています。今年度はコロナで保護者様の集まりを実施できず、方針や対応、予定について随時書面でお知らせしました。 他機関と連携を図る際には、必ず保護者様の理解を得ています。
非常時等の対応	健康管理に配慮のいるお子さんには、看護処置マニュアルを作成しています。 月に1回、お子さんと共に避難訓練を実施しています。 嘔吐処理の仕方、体調不良児発生時の対応の仕方をマニュアル化し、感染拡大防止に努めています。